



カッ

ハッ!?

待っ...
ア

を...
らね!!

ぽっ

アッ

前を...
もっと

まかせア
兄ちゃん

この家には
まだ少年が
いるのか!

むっ

どうしたの
兄ちゃん!!

あっ
痛いっ
やめ
あ
あ

!?
兄ちゃんの
声...!?

「はっ」

うわっ
何だお前!

何を隠さう
ボクは狐の妖怪!

男児を犯すことにより
妖力を得てるのだ!!

妖怪...!?





てか兄ちゃん痛がってたじゃん!!

やるなら優しくしろよなー!!

ふん

ボクが気持ちよかったらなんでもいいのだ!

キュ~~~~



よし次はお前を犯してもっと妖力を!

俺が仇をとるからね!!

ガッ

ハッ!?

おいこえ待っ

ほっ

まかせて兄ちゃん!



ああっ!

ぐちゃ

ボクは

やめろ!

わっ



嫌がられると俺のエスっ気が...

ボクは犯されると妖力が弱まっ

やめっ

やめろっ



ますますなつちやうじゃんく!

ハ!!



あれそいつぎっき俺を襲ってきた...

どうなってんの??



コラー!! 人の部屋で何してんだっ

あっ兄ちゃん起きた!

がはっ

そうだ
狐くん!

やめてほしかったら
兄ちゃんのちんちん
啜え上げて!

ハア!?

なんで
このボクが
そんなこと

じゃなかったら
一生抜かない
からね!

ううう

ちよ

俺は別に

ほらほら
兄ちゃん
こっち来て!

さっきの分まで
ちゃんと気持ちよく
してあげてよね!

チン
チン

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

はっ
はっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

